

令和6年5月28日

工業会 JEAS カメラ画像利用安全利用推進委員会
DX 推進プロジェクト、個人情報管理室

画像と文字の AI 利用について社会のご理解をいただくためのお勧め事項（仮称）案

～地域生活者の皆様などからのご理解・ご支持をいただくために～

画像や文字の AI 利用が進む中で、各ステークホルダーに公正な情報をお伝えするためのポイントを纏めました。日々心に留め今後の事業に織り込んでいただきますようお願いいたします。

監修：丸の内総合法律事務所 木村 一輝 弁護士

[ステークホルダーへの丁寧な説明](#)

[地域生活者・第三者視点でのチェック](#)

導入後の適切な対応

本文中の用語説明：

オントロジー・・・知識ベースを構築する際、語彙や意味、関係性を他人とも共有し知識の再利用を容易にすることをオントロジーという。オントロジーは、もともと哲学用語で「存在論」を意味していました。目の前にある具体的なモノ（存在者）の個別的な性質を超えて、そうしたモノを存在させるメカニズム（存在）を問題化し考察する形而上学の一分野がオントロジーでした。転じて情報科学の分野では、「概念化の明示的・形式的な仕様」と定義されます。知識やデータ処理について記述する際のルールブック、仕様書が必要であるという考え方です。

アノテーション（annotation）・・・あるデータに対して関連する情報（メタデータ）を注釈として付与すること。XML等の記述形式を用いてメタデータをタグ付けするケースが多く、付与したメタデータやタグを指してアノテーションという場合もあります。

XAI：Explainable AI・・・説明可能AIのこと。ニューラルネットワーク型のAIモデルによる予測や判断に関しては、その判断の根拠を説明できないケースが多く、AIの判断をどこまで信用できるのか人間には分からないという課題があります。そうした課題を解決するために登場したのが、AIの判断理由を説明できるようにした「説明可能AI」という技術です。

PIA・・・事業全体を通じて計画的にプライバシー保護の取組を実施する考えは「プライバシー・バイ・デザイン（Privacy by Design）」と呼ばれ、国際的にも重視されています。この「プライバシー・バイ・デザイン」の考えを実践する手法の一つがPIA（Privacy Impact Assessment、個人情報保護評価）です。

フロー図のイメージ

